

## 高千穂検定・観光ガイド募集！

神話と伝説の町、そして渓谷美を誇る高千穂町は、各地から多くの観光客の方々にお越しいただいております。

毎年2回、観光に携わる方や地域の皆様に、高千穂に残る神話や文化・観光施設などの知識を深めていただき、高千穂町の魅力を伝えることができる人材育成を目的に高千穂検定を実施いたしております。また、高千穂検定は、高千穂観光ガイドの筆記試験も兼ねており、上級に合格され、尚且つ観光ガイド実地研修を受講いただきますと、有償ガイドとしてご活躍が可能です。



- 【実施日】令和6年6月・12月（年2回）  
【開始時間】午前9時30分～11時00分（試験時間90分）  
【会場】一般社団法人高千穂町観光協会 会議室  
【申込規定】初級は小学3年生から中級・上級は中学生から受検可。  
【受験料】中学生以下は無料 高校生以上一般の方は1,000円



## 新規会員様紹介

令和6年度4月以降にご入会いただいた会員様をご紹介いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

【飲食店】	【旅行業】	【施設管理等】
SAKUYA 様	株式会社 訪う 様	一般社団法人いわとむら 様
結い café 様	JUJU トラベル 様	【製茶業】
高千穂キングしいたけ 様	【宿泊業】	株式会社 緑碧茶園 様
BARU's CAFÉ 様	エンシティホテル延岡 株式会社 様	

高千穂町観光協会では、高千穂町の観光振興にご協力いただける会員の方を募集しております。ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。（電話：0982-73-1213）

## 高千穂町観光協会 事務所移転計画

高千穂町観光協会では、事務所社屋を新築する計画を進めております。現在の事務所社屋は本町中心部の高台にある高千穂町立病院跡（高千穂町三田井809-1）に位置しており、その微妙に分かり難い立地からバスでお越しになった観光客の方などに不便をおかけしております。そこで、社屋新築に際し事務所を高千穂バスセンター付近（株式会社京美堂様の隣）に移転する計画を進めております。

3階建ての新社屋は県産の木材を使用し、その竣工はまだ先のことですが、現在よりアクセスが良く、その親しみやすい雰囲気で観光地高千穂の主要拠点となる事請け負いです。観光客や会員様、地域住民の皆様の憩いの場となる空間づくりを目指しておりますので、完成したら是非足を運んでみてください。



予定工期

建築実施設計：令和6年9月～令和7年3月  
取り壊し工事：令和6年11月～令和6年12月  
社屋建築工事：令和7年8月～令和8年5月



一般社団法人高千穂町観光協会  
観光協会だより 第1号

令和6年7月20日発行  
発行人 高千穂町観光協会

事務局 高千穂町三田井 809-1  
メール : info@takachiho-kanko.jp  
TEL : 0982-73-1213 FAX : 0982-73-1239  
最新情報はこちら→



一般社団法人 高千穂町観光協会（地域 DMO）会報 第1号

# 観光協会だより



## ご挨拶

一般社団法人 高千穂町観光協会 会長 竹尾通洋



涼風が恋しい今日この頃、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて高千穂町観光協会ではかねてから年に2回、広報誌を発行しておりますが、これらは会員の皆様に向けたものであり、観光協会の取り組みについて町民の方にはあまり知られていない部分もあったと思います。一方で高千穂町観光協会は地域 DMO(観光地域づくり法人)としての認定を受けており、地域の多様な関係者を巻き込みながら観光地域づくりを牽引する役割を担っています。この責務に照らし、この度観光協会では従来の様式を改め、広く町民の皆様にご覧いただける形で広報誌を発行する運びとなりました。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し水際対策が撤廃されてから特に国内外の旅行需要も高まっております。日々変容する環境に対応し持続可能な観光の実現に邁進してまいりますので、是非とも本誌をご一読いただき、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 観光地域づくり法人（地域DMO）としての役割

（一社）高千穂町観光協会の事業内容としましては、主なものに高千穂峡での貸しボート・売店の営業や駐車場管理、高千穂神社で通年公開している高千穂神楽、高千穂バスセンターと道の駅の観光案内所の運営に各種観光情報のPRなどがあります。

その一方で高千穂町観光協会は平成29年11月、登録主体を観光庁とする観光地域づくり法人（DMO：Destination Management/Marketing Organization）の「地域DMO」として宮崎県初の第一弾登録を受けています。

観光地域づくり法人（DMO）とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りや愛着を醸成する地域経営の視点に立った司令塔として、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的なアプローチや、地域の魅力向上に資する観光資源の磨き上げ、地域内を含む交通アクセスの整備、多言語表記などの受入環境の整備、プロモーション等、地域と旅行者の双方が観光のメリットを実感できる仕組み作り等を構築し、持続可能な観光地として実現を進めて行きます。高千穂町の神話・歴史・文化・自然を最大限に活用して、観光課題解決に取組んでいます。



## 観光庁補助事業 令和6年度地域・日本の新たなレガシー形成事業

「日本一の神話のまち高千穂」“いにしえ”から現在、未来へ

持続的な観光地となるためには、将来にわたり国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につなげ、地域・日本の新たなレガシーとなり得る観光資源を形成することが重要です。

令和6年度において、地域・日本の新たなレガシー形成を促進するため、九州運輸局、一般社団法人高千穂町観光協会及び高千穂町等が連携し、高千穂町天岩戸地区におけるレガシー形成の実現に向けた検討を行います。

日本神話・神楽の価値を高めるとともに、天岩戸地区の文献調査をもとに史跡を活用、再現し、天岩戸地区的精神性や魅力を高めることで、唯一無二の「日本一の神話のまち」の形成を目指します。



## ツーリズム EXPO ジャパン 2024 in 東京ビッグサイト

「ツーリズム EXPO ジャパン」は地域経済の活性化や雇用創出の効果などから注目される観光産業をさらに活性化させる為、官民が一体となり、海外・国内観光需要の喚起、訪日観光の誘致への動きが進められる中で、2014年に誕生した世界最大級の旅の祭典です。高千穂町観光協会では令和6年9月26日～29日の4日間、東京ビッグサイトで開催される同イベントに高千穂町のブースを設置し、観光PRを行います。

大阪で開催された昨年に続き2度目の出展ということで、前回の経験も活かしてより効果的に来場者が楽しめるイベントを行えるよう、鋭意企画中です。



## 日本の観光・物産博 2024 in 台湾

令和6年10月18日(金)から20日(日)の3日間、世界でも屈指の利用者数を誇る台湾の台北駅を会場に開催されるイベント「日本の観光・物産博 2024」に参加し観光PRを行います。

当協会で国籍統計を取っている高千穂峡貸しボートや高千穂神楽、観光案内所のいずれにおいても訪日外国人利用者数のトップは台湾であり、TMS Cの熊本進出や熊本空港での熊本-台北線増便などの追い風も受け、今後一層重要なマーケットになることは疑いようありません。

昨年は3日間で11万人以上が来場した同イベントに期待できるPR効果は高く、今回の出展を通じ高千穂の魅力を余すことなく伝えてまいります。



なお、今年の4月3日に発生した台湾東部沖地震の復興の一助としていただきため、本町の姉妹都市である花蓮市に対し、当協会から義援金100万円をお贈りしたことをご報告いたします。

## 多言語 Wi-Fi 音声ガイド

多言語観光案内音声ガイドは、高千穂町を観光で訪れる旅行者の満足度向上を目的としており、高千穂町の観光情報を日本語・英語・中国語の音声ガイドとして提供しています。

高千穂峡、高千穂神社、高千穂神楽、天岩戸神社などの観光スポットにQRコード付きの看板を設置し多言語での観光案内音声ガイドで観光地の紹介をする仕組みとなっています。

日本語のナレーターは「神都高千穂観光大使」の剛力彩芽さんがあてていますので、付載のQRコードから是非ガイド音声を聴いてみてください。



## 新宿みやざき館 KONNE 観光・物産PR事業

令和6年7月13日(土)～14日(日)の2日間で東京都新宿みやざき館KONNE店舗内で「高千穂の観光物産PR事業」を行います。

KONNEでの観光物産PRは今年の3月にも行っており、その経験も踏まえながら今回は夏場に向けての観光客の誘致や、釜炒り茶を中心とした物産販売を行います。

宮崎県の出先機関として東京都心に居を構える同施設は、関東圏でPR活動をするにあたっての最重要拠点とも言える場所であり、今後も継続的にタイアップしながら関係を深めていきたいと思います。



## 来訪者満足度調査 実施

高千穂町を訪れた観光客の方が商品やサービスの「何に、どの程度、満足・不満を感じた」のかを把握するため、町内の各宿泊施設や観光施設にQRコードを記載したスタンドを設置し満足度調査を行います。来訪者の生の声を集めたデータから、各属性の「満足度」「来訪意向」「観光消費額」を向上させるための糸口を見つけていきます。

## 令和6年度 表彰

高千穂町観光協会では年に1度、総会のある6月に観光功労者等の表彰を行っております。そこで今回受賞された方々をご紹介いたします。

### ①【特別表彰】(1名)

株式会社 杉本商店 (代表取締役 杉本 和英)

環境や社会に配慮した製品の普及に取組む団体を表彰する「グリーン購入大賞」で障害者支援施設と連携した干ししいたけの販売を行なっており、最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を受賞されました。



### ②【令和6年度観光功労者表彰】(3名)

伊藤 龍氏 (後川内神楽保存会) / 河内 夏男氏 (上田原神楽保存会) / 戸高 政昭氏 (川登神楽保存会)

本町に伝承されている国指定重要無形民俗文化財「高千穂の夜神楽」の重要性を深く認識され、伝承者として次の世代への継承活動を通して、高千穂町の伝統文化の振興並びに当法人の継承・保護を目的とする伝承育成事業推進、観光振興にも多大な貢献を頂いております。

## 「高千穂の旅 2024」Instagram キャンペーン

高千穂町観光協会では、SNSフォロワーの増加やそれによる情報発信の促進、観光客・飲食店及び宿泊利用者を増やすことを目的に、Instagramでのハッシュタグキャンペーンを行います。対象期間中に高千穂町内で撮影した写真にハッシュタグを付けて投稿してくれた方の中から約15名様に高千穂の特産品をプレゼントします。当キャンペーンについては観光協会ホームページやSNSで告知するほか町内各観光スポットでもポスターなどを掲示します。

高千穂町観光協会のInstagramはおかげさまで先日フォロワーが1万人を突破しました。これからも高千穂の観光に関する各種投稿を行なっていますので、是非一度覗いてみてください。



期間：令和6年8月1日～12月10日 予定

応募方法：①高千穂町観光協会のInstagramアカウントのフォロー

②キャンペーン期間中に高千穂町内で撮影した写真の投稿

③撮影した写真を「#高千穂の旅 2024」を付けて投稿

商品：高千穂の特産品（米、釜炒り茶、高千穂牛などを予定）



TAKACHIHO\_TOURIST\_ASSOCIATION